

第17次派遣(新千厩) 8月28日(日)～9月3日(土)

児玉 武雄さん(中国)
班長：神崎 剛さん(九州)
中村 正史さん(九州)

《第17次派遣の3名が出発しました！》 8月28日

第16次派遣の傳田書記長、野田さん、岩本さん、大変お疲れ様でした。

そして、本日からの第17次派遣として、九州労組の神崎 剛委員長と中村 正史書記次長、中国労組の児玉 武雄書記長が現地へ向けて出発しました。

今回から、ベースキャンプがこれまでの美里から千厩に変更となり、作業場所も当初予定されていた宮城県気仙沼市から岩手県の陸前高田市周辺地域に変更することとなりました。

また、出発式にて、宮城チーム団(40名)を代表して、神崎委員長は「3月31日以降、多くの仲間が繋げてきた活動の一員になることを誇りに思う。被災者の笑顔や思い出、被災地の町並みを少しでも取り戻すことが出来るよう精一杯頑張ってきます！」との決意を力強く表明し、最後に「連合の仲間と共に頑張ろう！」と団結ガンバロウを三唱して元気に出発しました。

今回の千厩チームは10名と少数精鋭での活動となりますが、全員で力を合わせて頑張ってください。

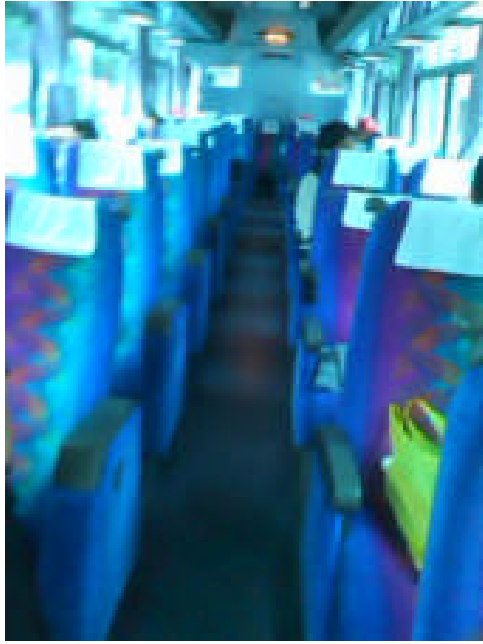
全国の組合員のみさなん、3名の方へ熱いエールをお願いします。



《左から、児玉さん、神崎さん、中村さん》



《番外編》 8月28日



みなさん、こんにちは！早速のコメント、ありがとうございます。

全労金第17次(連合第21陣)は、本日午前11時に東京を出発し、現在、国見SA付近(福島市から少し北)です。明日からは、本格的に活動状況を報告しますが、番外編と言うことで。

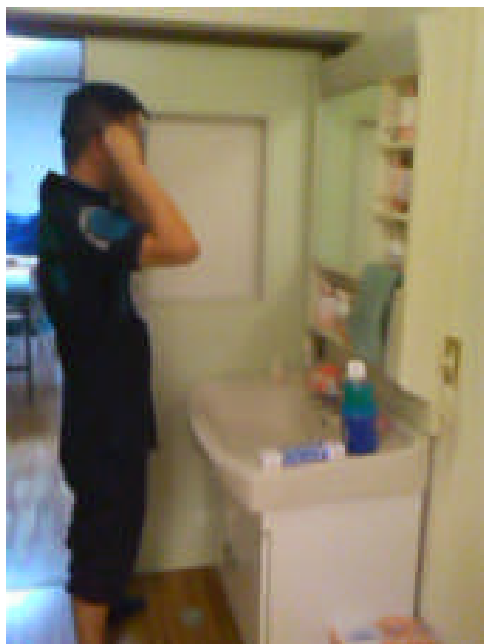
私たち、新千厩BCのメンバーは、全員で10名という少人数です。そのため、大型バスをかなりゆったり使わせてもらっています(ゆったりすぎて、バス内での会話はありません)。

メンバーは、全労金から、中国労組の児玉書記長、九州労組の中村書記次長と私神崎、そして、JAM、JP労組、JR労組の仲間のみなさんと、女性1名、男性9名で、陸前高田で活動を展開します。

精一杯頑張ってきます。(担当 神崎)

写真は、広々とした車内の様子と、全労金から参加の左から、児玉さんと中村さん。あれ？右が児玉さんで左が中村さん？？

《新千厩BCを紹介します》 8月28日



《ゴーグルをチェックする児玉さんと明日の準備で安全靴に消臭スプレーをふる中村さん。携帯で見ずらく、名前を間違ってるかもしれませんのであしからず》

19時30分の予定が、思ったよりも早く、17時10分に宿泊地の新千厩に到着しました。

18時から全員で夕食をとり、18時45分から班長会議以降は自由時間です。

BCは、2年程使われていなかった公営住宅を使用されており、風呂、洗濯機、冷蔵庫があります。

歩いて15分弱のところに、ローソン、コインランドリーがあります。

それでは、全労金から参加の兄弟と共に、施設の様子等を紹介します。



《今日の夕食》

《今日は晴天》 8月29日

おはようございます。

昨日の夜は、空調はありませんが、涼しく過ごせました。児玉さんが寝ぼけてトイレと押し入れを間違え、中村さんがうなり咳き込む等、睡眠不足以外は3人共に体調万全で活動を開始します。

今朝は5時30分に起床し、みんなで朝食や活動の準備を行い、今から、陸前高田に向かいます(バスの到着が遅れるアクシデントがありました)。

今後、新千厩に来られるみなさんへ昨日報告した施設の状況で、3階建てなのですが、洗濯機と冷蔵庫は、全部でそれぞれ2個しかありませんので、共有になります。

それでは、行ってきます。(担当 神崎)



《新千厩BC前の兄弟》

《活動報告》 8月29日



《出発前の神崎さんと児玉さん》



《陸前高田市の様子ボランティアセンター作業風景(神崎さんと児玉さん)》

今日は陸前高田市広田半島にて、民家の瓦礫撤去、並びに、解体作業に取り組んでいます。

ここは、陸前高田市の半島部分だったこともあり、震災後しばらく水に浸かったまま、海のような状況で、本島と分断され、未だに復興が進んでいない地区となっています。

ここに到着するまでの間、車中から見えるのは当たり一面建物がなく、瓦礫と無造作に積まれている壊れた車の山でした。震災から5ヵ月が過ぎ、復興も進んできているというマスコミ報道を見ていた私は、茫然とし、自分の認識の甘さを恥ずかしく感じました。その後、ボランティアセンターで今日の活動説明を受けたのですが、このボランティアセンターもできたばかりで、建物も仮設で、けして立派ではありませんでしたが、復興への思いとボランティアに対する心遣いが伝わりました。また、高校生がボランティアスタッフとして、活動しており、その姿に元気をもらうことができました。

天気もよく暑い中での活動となっていますが、体調に気をつけて、全労金の仲間の思いを胸に午後からも頑張ります！なお、昼飯は、おにぎり2個でした。

明けない夜はない！！報告者：九州労組中村(弟)

追伸：ブログの更新がうまくいかず、昼の報告が今になったこととお詫びします。

《初日の活動終了報告》 8月29日

初日の活動が終了しました！！まずは、3人とも怪我・事故なども無く、無事にBCに帰還したことをご報告申し上げます。本日は、全労金チームが千厩BCに移って初めての活動日でしたが、出発時刻にバスが来ず・・・陸前高田市ボランティアセンターから作業現場へ向かう途中で道に迷い・・・移動に関してはトラブル続きとなりました。ただ、そこは連携が強い「全労金チーム！！」誰かの咳がうるさいとか、誰かが寝ぼけてトイレを間違っただけで寝れなかったなんて、誰も文句のひとつも言わず、現場まで向かいました。活動場所は、陸前高田市の広田半島で、海岸から50m付近に位置する個人宅でした。天気にも恵まれ、海岸線も美しく、のどかな風景に包まれていました。その反面、作業場所となった家屋は、1階部分は全て津波に飲み込まれ、激しく損傷した姿を目の当たりにし、改めて自然の脅威、自然の前での人間の無力さを痛感しました。作業自体は限られた時間と暑さ、また、不慣れな点もあり、家主さんの依頼を完璧にこなす所までには至りませでしたが、その中でも、感謝の言葉を頂き、作業途中で現場を離れなければならないことに後ろ髪を引かれる思いでした。明日以降も同じ場所での作業を願いつつ、また、どの場所に行ったとしても、メンバー全員が全力作業を決意し、帰路につきました。やまない雨はない！！明日も頑張ります。中国労組 児玉(兄)

※千厩BCを快適に過ごす情報

- 朝晩は冷えるため、長袖長ズボンの部屋着があるといいかも。
- ドライヤーはあったらいいかも。



《写真左：兄が作ったブログ文章の誤字を指摘する弟、写真右：その光景を見て満面の笑み》

《活動2日目:朝(晴天)》 8月30日



《一緒に活動しているメンバー》



《ボランティアセンターにて》

おはようございます。

昨夜は、トイレの場所を再確認し、兄弟二人を寄り添わせ、離れて一人で寝たため、私らしく規則正しい生活を過ごすことができました。

BCから1時間20分程移動し、ボランティアセンターに到着しました。その後、センター全体とグループ全員のそれぞれでオリエンテーション(活動内容や留意事項の説明)を受け、今から、本日の活動場所へ移動です。ちなみに、ボランティアセンターも、地元の社会福祉協議会の方々だけではなく、各地から参加したボランティアの方々によって、成り立っています。

今日は、ボランティアセンターから約20分移動し、陸前高田市の矢作という地域で、民家からの依頼に基づき活動します。内容は、昼のブログで！

では、行ってきます。

見えなくても星(希望)はある！（報告書 神崎）



《ボランティアセンターに集まったみんな
でオリエンテーション》

《2日目の活動報告(昼7口)》 8月30日

活動2日目を迎えました。

本日の作業場所は、陸前高田市内にある「気仙川」に面した矢作地区です。海岸線からは距離はありますが、地震による津波が川を昇り、地域一帯を飲み込んだとのこと。現在は、周辺地域も整備されつつありますが、震災直後は、市内から流れてきたもので覆われ、見るも無惨な状況だったとのことでした。

具体的な作業内容は、個人宅の庭を覆った泥の搬出作業です。時間も経過していることもあり、一見は普通の庭先に見えますが、掘り起こすと硝子の破片や日用品などが出てくるなど、震災の傷跡を感じます。

昼食では、いつもの「おにぎり」だけではなく、家主さんから「冷たい素麺」を頂きました。被災されているなかでのご好意に感謝し、昼からの作業もがんばるぞいっ！咲かない花はない！！（中国労組児玉）



《気仙川》

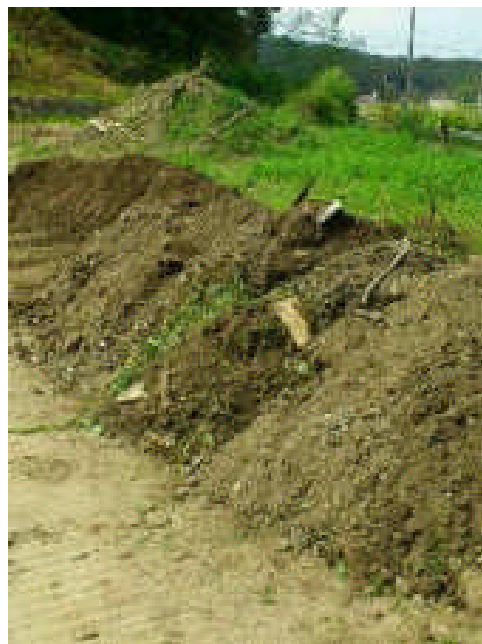


《作業中の神崎さん、中村さん》。

《活動2日目：夜》 8月30日



《作業後の状況(わかりずらいですが…)》



《掻き出した泥》

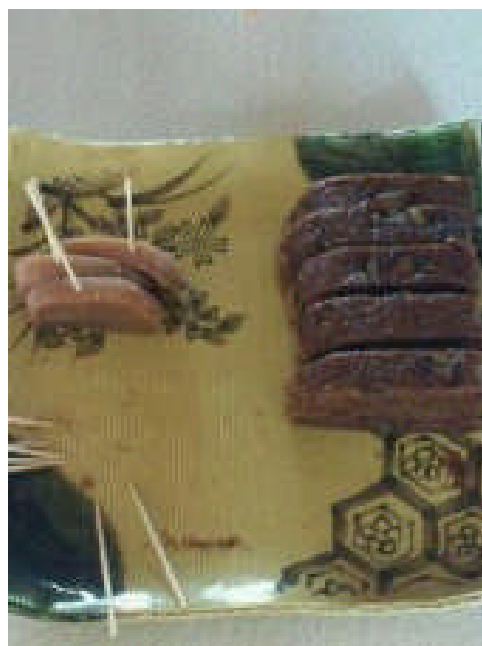
二日目の活動が終わり、先ほど夕食のお弁当をいただきました。

昼からもメンバー全員の力を合わせ、家主さんから依頼を受けていた家周辺の泥出しを最後まで終わらせることができました。また、家主さんから差し入れとして、名物の「ゆべし」とケーキをいただき、充実感と暖かい気持ちで活動を終わらせることができました。

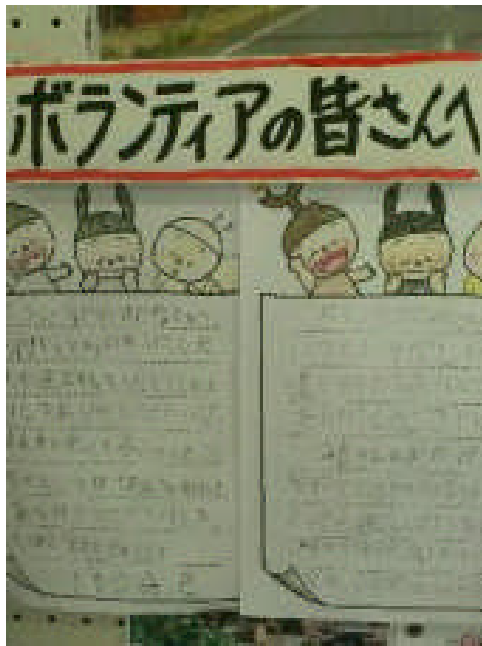
帰りに、ボランティアセンターへ活動報告と借りていた道具を返却するために立ち寄りしました。センターでは、活動を終えて帰ってくるボランティアに対して、お茶やコーヒーを準備してくれています。また、被災地の被災前後の写真や近隣の子供たちからの感謝の手紙が掲示しており、私たちボランティアの役割と責任の重要性を改めて感じました。

BCへ帰った後は、洗濯や掃除等、身の回りのことを済ませるわけですが、洗濯係の私から、洗濯事情を紹介します。洗濯機は、一階と二階に一台ずつあります。洗剤もありますが、残り少ないので、持参されることをお勧めします。なお、ハンガーや洗濯ばさみ等がありますし、ベランダもあるので、快適な洗濯ライフを過ごしています。明日は、午後から天気がくずれるようですが、東北の方々の笑顔に出会うために、明日も頑張ります！

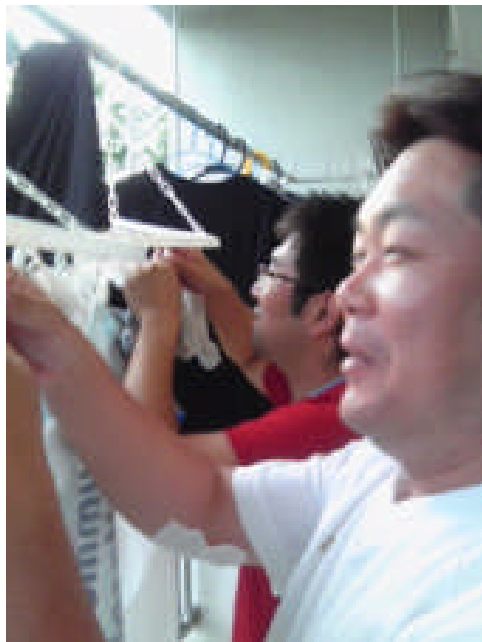
陽はまた昇る！（報告者：中村）



《差し入れのゆべし(左)とケーキ(右)》



《ボランティアセンターに掲示してある手紙や資料》



《洗濯物を干す神崎さんと中村さん》

《活動3日目:朝(雲天)》 8月31日

おはようございます。

活動3日目、折り返し日です。しかしながら、早朝から小雨が降るなど、あいにくの空模様です。

昨晚は、2日間の疲れを癒すため、3人で仲良く「湿布の張り合いっこ」をしました。ただ、弟が「バンテリンが効きますよ！」と言って渡したのが、「インドメタシン」でした。相変わらずのおてんばものです。

このたびの移動手段は、岩手急行バス(株)の大型バスを利用させて頂いています。特に、陸前高田市内を移動する時は、道路の陥没による通行止めや至るところでの交通規制、また、建物崩壊により、移動経路における目印がなくなるなど、移動に関しても震災の影響を痛感しています。

ちなみに、初日、2日目の運転手さんは、岩手急行バス労組(私鉄総連)の木村委員長で、本日は、石川書記長です。連合を中心とした労働組合の繋がり、心強さを我々自身も感じながら、今日も1日頑張ります！

努力は実る！！ 報告者:児玉※九州労組からの質問については、一晩かけても、3人の認識の一致が図れていませんのであらためてっ。



《石川書記長と神崎さん、中村(弟)》

《活動3日目:昼》 8月31日



《クワに振り回される中村さん》



《児玉さん！一輪車は2つ持てません》

今日の活動場所も昨日と同様、陸前高田市の矢作町にある鈴木さん宅です。

今日の活動内容は、午前中は裏庭の泥だしです。今までの活動報告で言われてた通り、3日目になるとチームワークも良く、一人ひとりの活動効率もあがり、2時間程で終了しました！

今は昼食休憩ですが、昨日に引き続き、家主さん(お母さん)から、豚汁をいただきました(めっちゃめっちゃ美味しい！)。

一方で、残念なことに、台風の影響で、明日から3日間、陸前高田のボランティアセンターの活動中止が決定されました。

夕方の班長会議で、連合本部とも調整し、明日からの行動を議論することになっていますが、選択肢の一つとして、石巻のボランティアセンターに参加することも検討しています(BCから3時間ぐらいかかりそうです)。

今日の活動終了後には、お母さんと一緒に写真を撮ろうと思ってますので、午後からの活動内容や明日からの行動とあわせて、夜ブログで報告します。

おにぎりが最高の料理に思える時がある！（報告者 神崎）



《お母さんからつくってもらった豚汁をいただく児玉さんと神崎さん》

※片平さん、木下さんの疑問①に答えます。あれは、歯みがき粉がついてただけで、肘痛や筋肉痛ではありません。

《活動3日目:夜》 8月31日



《腰と肘の痛みに耐えながら(笑)排水路から泥出しする神崎さんと、それをサポートする児玉(兄)》



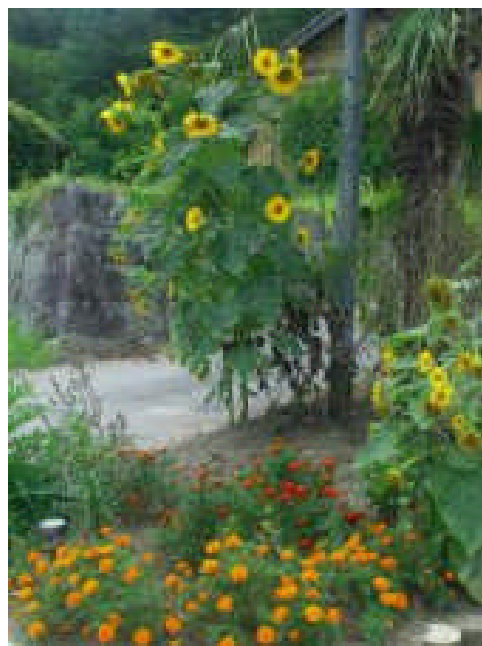
《家主の鈴木賀智子(かちこ)さんと一緒に》

今日の活動も、怪我人もなく無事に終了しました(東さん、私の肋骨も無事ですよ)。

昼からは、主に、家周辺の排水路からの泥出しを進めました。時間もあまりないことから、最後まで終わらせることができないかと思われましたが、抜群のチームワークで、活動を終了させることができました。最後の最後まで家主さんからは、たくさんの差し入れや感謝の言葉をいただき、本当にボランティアに参加して良かったと感じることができました。ただ、昨日今日の活動は、被災した一家族の要請に応えたもので、東北では、多くの方々が助けを必要としています。今後も、小さい一歩かもしれませんが、その歩みを止めることなく、復興再生に向けた活動を、すべての仲間と共に進めていきましょう！

ここで、千厩BCを少し紹介します。千厩BCは、各部屋畳張りの3DKで、二階三階が住居スペース、一階が事務局となっています。各階、風呂(全労金で、シャンプー、リンス、ボディソープ準備してますが、ドライヤーはありません)、トイレ、洗面所が付いてます。掃除機もあり、一定に必要なものは揃っていますし、夜は静かで、星がとてもキレイです。古い建物ではありますが、過ごしやすい所と思いますので、次にボランティアでいらっしゃる方々は、参考にして下さい。

最後に、明日からは、石巻のボランティアセンターでの活動となります。これまで以上に移動時間がかかり、活動時間も少ないことから、非常に不安ではありますが、張り切



《鈴木さんの家の庭に咲く向日葵とマーガレット(向日葵は、復興のシンボリックな花で、様々な所で力強く咲いています)》

って三人で頑張ってきます！明日の朝の報告では、連合の役員として、私たちをサポートしてくださっている方々を紹介します。

千里の道も一歩から！（報告者：中村）

追伸：片平さん、木下さんからの質問に回答します。洗濯大臣についてですが、私だろーと思っていましたが、神崎さんと兄貴から、反対され、決戦投票の結果、洗濯機が大臣となりました…。また、兄弟の名字ですが、兄貴と相談した結果、片平さんの扶養に入って、養ってもらうこととなりましたので、何卒よろしくお願いいたします。

《活動4日目:朝(雨天)》 9月1日

おはようございます。現在、ボランティアセンターへバスで移動中です。今日は、これまでの活動の中で初となる雨の中での活動となります。その上、昨日のブログに書いていますが、台風の影響で、陸前高田のボランティアセンターが、休みとなったため、石巻のセンターへ2時間30分かけて移動しています。連合でも、ボランティアセンターが途中で変わるという事態は、初めてということで、初日のバスの遅れ等もあわせ、イレギュラーなことが多いメンバーですねと、連合役員の方もおっしゃっていました。話題が出たところで、連合の役員の方を紹介しします。まず、BCに事務局として、私たちと活動だけでなく、寝食も共にしている宮里さんです。出身は沖縄で、本人曰く「沖縄の織田裕二」とのことです(笑)。もうお一人は、活動の際に、颯爽と軽トラで現れ、共に額に汗していただく山本さんです。出身は気仙沼ということで、被災されたにも関わらず、連合の役員として、ボランティア活動に取り組んでいらっしゃる方です。私たちは、こうした方々のサポートがあるからこそ、これまで、体調不良や大きな怪我もなくボランティア活動を進めてこれたと感じています。本当にありがとうございます。

最後に、昨日の夜、東北労組の三浦委員長が、BCへ激励においでくださいました。震災当時の話やこの間の道のり、様々な貴重な話を聞くことができました。お土産に、笹かまぼこや日本酒までいただき、本当にありがとうございました！このお礼は、残りの活動の中で返せるように頑張ります！

希望は強い勇気であり、あらたな意志である。
ルター

追伸：職場のみなさん、少々微妙ですが、激励のメッセージありがとうございました！必ず、帰ってきます！



《連合役員の宮里さん(左)と山本さん(右)》



《三浦委員長と一緒に》

《活動4日目:昼》 9月1日



《撤収作業中の片平正史(旧姓：中村)》



《バスで待機中の神崎さんと片平正史(旧姓：中村)》

お昼の報告です。今日は、既にお伝えしていますが、活動場所を陸前高田から石巻へ変更し、4時間かけて、新たな活動場所となる牡鹿半島入りしました。天候はあいにくの雨。しかも、到着と同時に雨足が強くなり、一時は雷雨になるなど待機を余儀なくされました。バスの中で早めの昼食を取りながら、天候の回復を待ちましたが、最終的に石巻ボランティアセンターにて作業の中止判断がされ、今日は残念ながら作業をすることなく、帰路につくこととなりました。ただ、移動中のバスの中から、甚大な被害を受けた石巻市内の光景を目にしました。このたびの私たちの任務は、少しでも被災地の復旧に向けて作業を行うこともさることながら、被災地の復興に向けて、今の状況を多くの仲間に伝えることも重要な役割だと認識しています。被災地を訪れ、目で見て肌で感じたことを胸に、本日はBCキャンプに戻ります。

明日の予定は、台風の状況を見ながら、検討がされています。確定内容は、おそらく夜には報告出来ると思います。(報告者：片平武雄(旧姓児玉))

《活動4日目：夜》 9月1日

昼のブログで紹介したように、活動内容が伝達され、小雨の中、開始しようとした時点で、雷を伴う大雨にみまわれ、約1時間程バスで待機した後、活動中止が決定しました。

未だなお、あちらこちらに、電化製品や木材等、多くの瓦礫が散乱している状況にあるにも関わらず、今日は何もできず悔しい思いを胸に、約4時間かけて、千厩BCに帰ってきました。

さらに、明日も、台風の影響に伴い、石巻ボランティアセンター自体の活動の中止が決定されました。

そのことにより、私達の活動は、実質的に昨日で終了となり、3名共に、やっと活動に慣れ調子が出てきただけに、非常に残念な気持ちと、短期間の活動になったことが悔しくて仕方ありません。つくづく、自然の前での人間の無力さを感じさせられました。

残念ながら、私達は、明日、帰路に着きます。私達の感情や気持ちを日曜日からの第18次以降のみなさんに託し、活躍されるみなさんの姿を見て、このモヤモヤを払拭したいと思います。そのような状況下、非常に心苦しくはありますが、明日が最終日ということもあり、今日は、今回のメンバー全員で、今後も、それぞれの立場で、震災からの一刻も早い復興・再生に向けた活動を実践することを改めて誓い合うため、ささやかな交流会を開催することとしました。四国・東海を中心に、台風の影響が心配ですが、被害がないことを岩手の地から祈っています。

今回参加した3名からの感想・決意は、明日のブログにて紹介します。10000回ダメでも、10001回目は変わるかもしれない！

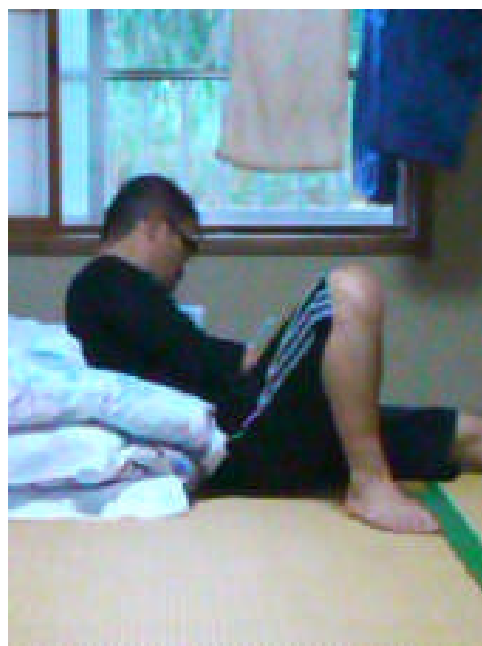
※活動した後は充実感に溢れるため、今日の長距離移動が一番キツかったです。（報告者 神崎）



《本日、活動予定だった場所》



《脱力感溢れ帰り支度をする中村さん》



《ぼーっと携帯を見つめる児玉さん》

《活動(?)5日目:朝・昼(雨天)》 9月2日

昨日、今日と本来の活動ができず、3名共に、歯がゆい気持ちのまま、家路につくことになりました。

今日は、28日からお世話になった千厩BCの掃除や、全労金で準備されている活動用具等の整理を行いました(※中村さんが、種類毎に整理しています)。

活動が中止になったことや、台風の影響に伴う交通機関の関係から、11時過ぎにBCを後にし、今日中に東京には辿り着きそうです。東京に到着後、もう一度、ブログを更新する予定ですが、本ブログで、第17次参加者から、それぞれ、感想や決意等を述べます。ブログを見ていただいた仲間のみなさん、毎日のように激励のコメントを送っていただいたみなさん、本当にありがとうございました！(3名共に、10分おきぐらいに、ワクワクしながらコメントを見てました)



《神崎 剛》

実質的に3日しか活動することができませんでした。あわせて、活動初日のお宅は、依頼された内容の半分もできず、このまま帰るのが悔しくてたまりません。連合は、この救済ボランティアに関して、9月末で一旦区切りをつけることを確認したようです。また、ボランティアセンターも地域によっては、ボランティアを受け入れず、復興に向けた活動を雇用創出の一環としての活動に変更しているようです。連合も、特に地元の方々は、私達と共に毎日活動しますし、雇用創出の機会も重要であり、複雑な気持ちですが、それぞれの判断も理解できます。ただ、まだまだ復興には程遠く、ボランティアセンターに依頼することを遠慮されている方々も多いと聞き、10月以降も、何らかの形で活動を継続できればと考えています。一方、震災で破壊された橋も仮橋ではあるようですが建設されており、花が咲いている状況を見ると、少しずつ復興の道のりを歩みはじめていることも実感しました。決して震災を忘れることなく胸に刻み、その上で、復興・再生に向けた活動を今後も継続します。多くの激励のコメント、ありがとうございました！

《児玉 武雄》

台風の影響により、予定を繰り上げて帰路につくこととなりました。歯がゆさと無力さを感じますが、次期のメンバーへ復興への思いを託し、BCキャンプを後にしました。私自身、今回の第17次派遣で2回目の活動となりました。ただ、日々を重ねるごと、活動を重ねるごとに、まだまだ継続した支援行動が必要なこと、被災地の方とふれ合うたびに、人の強さ、温もり、そして人と人との繋がりを実感しました。繰り返しになりますが、本日をもって、私たちは帰路につきます。限られた時間での活動となりましたが、今後は、一人ひとりが感じ、考えさせられたことをそれぞれの立場で情報発信して行きます。最後になりましたが、多くの方にブログを通じて、励まし、勇気を頂きました。ありがとうございました。

《中村 正史》

台風の影響で、悔しさの残る活動となりましたが、東北に来て、自分の目を見て、感じ、現地の方々とふれ合い、いろいろな経験をさせていただくことで、改めて復興・再生への思いを強くすることができました。今回感じたことは、復興・再生には、まだまだ支援が

必要であること、その支援は、ボランティアとして、現地に出向くことももちろんですが、どんな形でも、被災された方々を思い、自分達にできることを実践することが、支援に繋がるということでした。被災された方々は、前を向いて一生懸命進んでいらっしゃいます。九州に帰っても、様々な形で、前に進むサポートをしていきます！最後に、多忙な時にも関わらず、気持ちよく送り出してくれた九州労組執行部の皆さん、職場の皆さん、また、ブログへのコメントで勇気をくれた全労金の仲間の皆さん、本当にありがとうございました。いろいろご心配おかけしましたが、無事に帰ってこれそうです！

《無事に東京に到着！》 9月2日

私達第17次のブログは、多くの仲間のみなさんが、「行きたい」「行ってみたい」と思う気持ちがさらに強くなれば、そして、今後、活動されるみなさんが、少しでも生活環境の不安を払拭できればと思い、被災地、被災者の方々には少々申し訳ない気持ちがありつつも、様々な色を出した内容としました。

明日、帰ることができれば、それぞれの自宅に戻ります。

全労金のたくさんの仲間、そして、全労済労組西日本総支部の新藤委員長からもコメントをいただき、本当にありがとうございました。

また、私達の身の回りのお世話も含めて、連合沖縄の宮里さん、気仙沼地協の山本さん、本当にありがとうございました。また、JP労組、JR総連、JAMのみなさんとの絆を深めることができ、改めて、労働組合活動の素晴らしさを実感しました。

様々な心残りはありますが、これをもって第17次のブログを終了します。

震災からの復興・再生に向けた活動を全体で継続することを誓い合って！



《無事に東京に到着し、全労金に立ち寄りました》

以 上